

※発言をそのまま書き起こしたデータを基に、個人情報に関する部分を削除し、文意が通るように修正を行っています。

前回までの振り返りと今回の進め方

(総合 F) それでは、今日の内容に入っていく前に、前回までの振り返りと今日の進め方ということで、木村さんから話していただきます。木村さん、よろしくお願いします。

(木村) それでは、今日のグループワークに入る前に、前回までの振り返りと、今日の進め方を確認したいと思います。

まず振り返りですけれども、この分厚い資料ですが、こちらを全部確認はいたしません。こちらは、第 1 回から第 3 回のときに皆さんからいただいた付箋をデジタルデータにしたものがメインです。以前皆様にお配りしているものですね。今日、改めてもう一度考えようというテーマでしたので、これを参考としてお付けしたということになります。何かあったときに見てもらえれば思って、配布させていただいた次第です。

では、この資料の 1 ページ目をご覧ください。「フォーラムの中心の考え方」というのは、以前お話しましたので、端折ります。

今までの流れで何をやってきたかということだけ、少しお話したいと思います。

まず、第 1 回フォーラムでは、『「原子カムラ」とはなんだろうか?』というテーマで、漠然とした問いで皆さんから意見をいただきました。「原子カムラ」という言葉のイメージをお互いに共有して、ムラというものをどう捉えればいいのかについて、ヒントを得るといった目的で開催させていただいたということです。この回は、木村のほうでご意見をまとめまして、第 2 回フォーラムのときに、一通りのまとめの案を皆さんにお見せしたということになります。

これを受けて、第 2 回フォーラムでは、『なぜ、原子カムラはなんとなく良いイメージを持たれないのか? そのイメージを払拭するためには、どうしたら良いだろうか?』というテーマで話し合いました。これは、第 1 回フォーラムのまとめから、(原子カムラが)言葉のイメージ、その性質としても、あまり良いイメージを持たれていないということを受けて、その原因、理由を話し合っまとめると。さらには、それを払拭するアイデアを話し合うということで、第 2 回フォーラムをやりました。

次に、第 3 回フォーラムでは、第 2 回フォーラムのときに、次回以降何を話し合いたいですかというお話をしたところ、「関心」というキーワードが挙がってきましたので、『原子力に関心を持つためにはどうしたらよいか? 無関心は本当にダメなのか? 「原子力への関心」とはそもそも何なのか?』というテーマで話し合いを進めました。

第 4 回では、そのほかの話し合いたいというテーマをざっとまとめて、皆さんから意見を表明していただくという回にしました。『原子力は本当に安全か?』『原子力は本当に必

要か？ 原子力はやめることができるのか？』『エネルギーの中の原子力の位置づけは？』。そういうことについて、皆さんから意見をいただきました。原子力の安全、必要性、エネルギー全体に関する各自の意見を交換することを目的として、開催されております。

今回の第5回は、これらを受けて、もう一度「原子カムラ」について考えていただくと。そういうテーマを設定させていただいております。

それでは、本日の進め方ですけれども、まずは青い紙、「グループワークの進め方」を見ただいただければと思います。これからグループワーク1を実施します。

目的。このフォーラムは、「原子カムラ」の境界を越える、という目的のために開催されている。第1回から第3回フォーラムでは、「原子カムラ」というものに焦点を当てて話し合った。そして、第4回フォーラムでは、参加者それぞれが自らの意見を紹介し、多様な意見があることを確認した。まとめとなる第5回フォーラムでは、改めて「原子カムラ」について話し合う、ということで進めたいと思います。

テーマは、『もう一度考えよう・・・「原子カムラ」はあるのか、ないのか、何なのか？「原子カムラ」というものをどうしたらよいか？』と設定させていただいております。

では、具体的にどのように進めるか。

0. この用紙を確認しましょう。これは、今やっているところです。

1. まず、【テーマ】の質問に対して、皆から意見を出してもらいます。3分程度を区切って、皆にポストイットに書いてもらって、手元にストックしておいてもらってください。1枚につき、1つの意見です。意見の質にはこだわらず、たくさんの意見を書いてもらうように心がけます。

2. 皆に意見を読み上げてもらいながら、模造紙に貼っていきます。意見に対する意味の確認をしてください。意見に対する意見は、皆が貼り終わった後です。

3. 貼られた意見に対して、意見を自由に言っていきます。また、意見と意見のつながりについても、意見を言いましょう。ここでの発言は、サブファシリテーターがキーワードをポストイットに書き出し、発言者に確認しながら貼っていきます。ゆっくりと落ち着いて話し合いを進めてください。

4. 出てきた意見をグルーピングします。グループを作ったら、それぞれに一言でタイトルをつけましょう。

5. それぞれの意見やまとまりについて、評価したり、構造化したりしましょう。発表のことも考えて、グループ内での優先度をつけても構いません。

6. 模造紙にまとまったら、ホワイトボードに貼ります。

7. 最後に発表者を決めましょう。複数人で話しても構いません。

ということです。これは第3回のグループワーク1のスタイルを踏襲しています。

注意点ですけれども、時間は45分です。時間の目安を左側に書いてございますので、こちらを参考にして、時間管理を適切に進めていただければと思います。

また、グループワーク終了の15分前と、今回は新たに5分前にもアナウンスするようにいたしますので、そちらも目安にして、進めていただければと思います。

次に、ピンクの紙を見ていただければと思います。「ブレインストーミングのやり方」が書かれています。今日はこちらを読むことはしませんが、「今日のフォーラムで気をつけること」と「サブファシリテーターの役割」だけ、読み上げさせていただきたいと思います。これも前々回、前回と変わらないことが書いてございます。

今日のフォーラムで気をつけること。

コミュニケーションについては、「私は」という一人称で話すようにしましょう。「私の意見」を言うことが大切です。誰かが話しているときには、自分が次に何を話そうかと考えるのではなく、その人が話していることをしっかりと聞きましょう。否定の言葉から話し始めるのは、なるべくやめましょう。話し過ぎない目安として、1人が1回に話すのは1分以内でお願いします。また各グループに砂時計を配らせていただいていますので、何かありましたらご利用ください。

次はファシリテーションです。自分の意見を言うことより、グループの話し合いを回すことに専念しましょう。誰かが話しているときは、次はどのように展開しようかなどと考えるのではなく、その人が話していることをしっかりと聞きましょう。なるべく全員に話題を振って、皆に話してもらおうようにしましょう。どんなに簡単な状況でも、相手の名前を呼ぶようにしましょう。グループ皆で、ファシリテーターを助けるようにしましょう。ということで、こちらも皆様ご協力をお願いしたいと思います。

最後に、サブファシリテーターの役割を確認させていただきます。基本的には記録、書かれていない発言をポストイットに書き出して、模造紙に貼る、ということになります。ファシリテーターがルールを回しきれていないときに、それをファシリテーターに指摘し、その作業を支援するというのもお願いをしております。また、ファシリテーターは、この場をどうおさめていいかわからない、このあと何をしたらよいかわからなくなった、などの場合には、サブファシリテーターに相談していただければと思います。

説明は以上です。それでは、グループワークに入っていただきたいと思います。

(総合 F) はい。それでは、グループワークに入りますが、それぞれのグループで、ファシリテーターのマークがついていた方はどなたかお分かりですか？ A 班、お分かりですね？ B 班さん、はい。C 班さん、はい、分かりました。

それでは、ファシリテーターの方を、サブファシリテーターが応援させていただくという形で進めますが、話し合いは45分間ですので、15分前に私から声をかけます。ちょうど14時になりましたら、私のほうから15分前コールをいたします。それでは、ファシリテーターの皆さん、どうぞよろしく申し上げます。